

みなさんに交通安全の意識を高めてもらうというところから、今年初めて企画されました。当日は警察署の沿道に道警のほくと君（写真左端）を含めた8キャラクターが並び、自動車の運転手に向けて「スピードダウン」の旗を振りました。みなさんもお出かけの際は交通安全を心がけましょう！



▲こんにちは～！と元気にあいさつしながら渡る東川小新1年生

てもらいながら、事前に教室で覚えた「みーぎ、ひだり、みーぎ、手をあげる、車が来たら止まらな」のフレーズを口ずさみながら横断歩道の渡りかたを練習しました。春は慣れない通学路を歩く子どもたちもいます。ドライバーのみなさんも、歩行者に十分注意した運転を心がけてください。

社協だより
温かい善意ありがとうござい
います
3月16日から4月15日に社会福祉事業にご寄付をいただいた方は次のとおりです。
《香典の返礼にかえて》
12 松家源一様
16 東 藤川由一様
16 西 鹿熊豊作様
16 西 園田最讚様
18 竹内最讚様

地デジ広報
自宅のテレビで地デジ広報を見ることが出来ます。普段はイベント情報等を掲載するほか、災害時等は防災情報をお知らせします。
①UHB（デジ8）を映す
②リモコンのdボタンを押す
③黄色ボタンのdボタンを押す
④地域で上川総合振興局を選択
⑤東川町を選択

【100の相談】
日々の生活で困っていること、悩みごとをお気軽に相談ください。秘密は守られます。事前にご連絡ください。（☎82-7505、随時受付）
【今月の相談員】
村田 節子

各種大会成績

- 【サッカー】
◆JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN北海道（4月10日-11日・苫小牧市緑ヶ丘公園）
▼〔3位〕コンサドーレ東川
- 【アルペンスキー】
◆第17回木村公宣杯ジャイアントスラローム競技大会（3月21日・富良野スキー場）
▼小学生女子1・2年生の部〔2位〕小林虹子（東川大雪スキー少年団）
◆第40回全道ジュニアアルペンスキー和寒大会（3月20日・和寒東山スキー場）
▼小学生女子3・4年生の部〔5位〕梶浦杏奈（同上）

スタ研通信

4月14日にせんとぴゅあにて開催された「椅子の日」記念セレモニーに参加し、『椅子の日宣言』を読ませていただきました。2019（令和元）年10月に東川スタイル研究員に就任して以来、さまざまな取り組みによって絶えず変化を遂げる東川町を間近に見てきましたが、中でも今回の「椅子の日」制定は東川町にとってはもちろん、私自身にとっても大きな意味を持つ大切な“転機”になることと思います。隈研吾さんのお話の中でもありましたように、東川町はこれからの地域社会の未来をリードしていく可能性を秘めた宝物のような町であると、



私自身も東川スタイル研究員として活動する日々の中で強く確信しております。そのような素晴らしい町、東川町で研究員として活動させていただけることに改めて大きな感謝と、更なる町の発展に貢献すべく精進していきたいと身の引き締まる思いで胸が一杯です。
コロナ禍において、暮らしや真の意味での豊さが改めて見直されつつある現在だからこそ、大切にしていけるべき価値＝“東川スタイル”を、これから東川町のみなさまと共に築いていきたいと感じております。
東川スタイル研究員 中川梨花

着任しました

再び、お世話になります！



東川町立東川小学校長 南部 和紀

ご挨拶



北海道東川高等学校長 水澤 弘幸

着任のご挨拶



北海道東川養護学校長 松岡 達也

このたびの異動で、富良野市立扇山小学校から東川町立東川小学校に着任いたしました。実は5年前には、「富良野市立扇山小学校から東川町立東川第三小学校に着任」と書きました。富良野（扇山小教頭）↓東川（第三小）↓富良野（扇山小）↓東川（東川小）、という異動ルートを通ったことになりました。

「ふるさとを愛し 共生・共和・共栄の観点に立ち 国際社会に貢献できる人材の育成」を目標に掲げる東川町で教育の仕事に再び携わることができ、大変嬉しく思います。

東川小学校では、4月7日に入学式が行われました。55名の新1年生を迎え、全校児童378名で新年度がスタートしました。校訓「開拓する心」、合い言葉「力いっぱい さあ やろう」、教育目標「かしこく やさしく たくましく」の実現に向けて、精一杯がんばる所存です。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

この度、十勝管内帯広市の帯広柏葉高校から着任いたしました。上川での勤務は初めてですが、北海道の最高峰旭岳をはじめとする、雄大な大雪の山並みを望む景色は絶景で、心も広く、豊かになる思いです。「写真の町」を宣言するに相応しい自然や街並み、そして町民の人柄は、東川町の自慢・誇りだと感じています。

東川高校は全日制普通科2間口の小規模校ですが、資格取得や海外派遣、部活動等に対する東川町からの手厚い支援のもと、福祉教育や国際理解教育等の特色ある教育活動を展開し、東川mind（福祉mind・Global mind・Challenge mind）を持った生徒の育成に、教職員一丸となって努めているところでです。

地域や生徒・保護者が寄せる強い期待を肝に銘じて学校経営にあたる所存ですので、今後とも温かなご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

この4月の異動により、七飯養護学校から東川養護学校に着任いたしました。本校は昭和58年に開校した知的障がい教育の特別支援学校です。開校39年目を迎えた本年度は小学部45名、中学部27名、高等部45名の総勢117名です。

本校はこれまで東川町内の小学校、中学校、高校との交流及び共同学習や、地域の方々の協力を得ながら行っている活動をとおして同じ地域の学校としての交流の広がりや子どもたちの社会経験の伸長を図ることができました。

障がいのある人もない人も活躍することのできる共生社会の基盤を作ることが本校の大きな使命と考えています。このことをまずこの美しい風景に囲まれ、教育にも熱心な東川町で実践できることに大きな喜びを感じています。今後とも皆様の本校への御理解と御支援、御協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

俳句

春の風ふわりパンダの子に名前
里の山やまこぶし咲くおちこちに
日月星年中無休地球星
田園に墨絵のごとく融雪剤
雪吊解かれ別れと出会いの日々となり
春光や薄皮むいたゆで卵
木の根開く女三人墓の事
デートにはカンフー映画猫の恋
子が子であるは生きてあること春北斗
夜明けもあかるき最後の巡回日
ぞうりむしゆつくり春を告げにくる
あくび止まらぬそういえば啓蟄
よろめくやスツと若者名残雪
白鳥の降り発つ駅は北日の出
新学期あふれる夢はポップコーン
いぬぶぐり優しいものから星になる

八田 昌代
杉山 ひろのり
横田 則子
杉山 則子
高瀬 潤
三島 智
保科 真智
由川 真人
若田 郁
佐々木 咲
本田 咲
こばやし 星来
石澤 清宏
斎藤 夕桜
山内 みゆ
小林 ろば



東川町ヌタップ吟社
石澤 ☎82-5146